

2018年3月期 第1四半期決算説明における質疑応答の概要

(2017年8月1日(火)、東京)

【グループ全体】

**Q. 今期の設備投資見込に対する1Qでの進捗状況について教えてほしい。**

A. 1Qの実績が31億円で、通期計画に対して進捗が遅れているように見えるが、もともと下期に投資の多くを見込んでおり、計画からの大きな変更はない。なお、個別の案件では、タイのGFPTニチレイの第5加工ラインが予定通り8月から稼働することになっており、オランダのロッテルダムに新しい冷蔵倉庫を建てる計画も予定通りの進捗となっている。

【加工食品】

**Q. 1Qの営業利益の増減要因について教えてほしい。期初予想の増減内容に対して、1Qで各々の程度影響があったのか。**

A. 1Qでは精緻に増減要因分析を行っていないため、具体的な数値に関してはご容赦願いたい。売上は順調に推移し、大幅な増収となった。一方、営業利益はほぼ想定通りの進捗だと考えている。増収効果もあったが、国内の原料価格ならびにタイの鶏肉相場上昇の影響を受けたことなどにより、1億円の増益に留まった。物流費や一時的な固定費増加も影響している。

**Q. タイの関係会社は1Qでどの程度減益となっているのか。**

A. 期初の段階で2社合わせて10億円程度の減益を想定していたが、1Qでは経過期間通りにほぼ沿って影響が出た。なお、2社ともに日本向け商品の生産を主体としているが、日本向けは販売が好調で取扱量も増えた。一方で、タイ国内の鶏肉原料上昇の影響も出ており、今後の動向を注視していく。

**Q. 業務用調理品は前期比+19%と伸長し、42億円の大幅増収だったが、その背景を教えてほしい。**

A. 中食ルート向けを中心にチキン加工品の需要が強いなかで、既存商品の拡販に加え、ニーズに合わせた商品開発が奏功し、新たな商品が導入されたことなどもある。

**Q. 業務用調理品は中食ルート向けを中心に販売が好調とのことだが、家庭用調理品についても売上げが前期比+8%となっている。2Q以降もこの水準を維持できそうか？**

A. 数字自体に対する回答はご容赦いただきたいが、家庭用のマーケットは堅調に伸びてきており、その中で我々も着実に伸ばしていくことができると考えている。

**Q. 1Qでの広告宣伝費の支出状況について教えて欲しい。**

A. 1Qでは商品CMの支出は発生していない。7月から「焼おにぎり」のCMを開始している。

以上

※当文書は当日の質疑応答内容をすべて記録したものではなく、株式会社ニチレイが編集を加えております。